

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年7月16日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月16日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。今日は短いですが、2番の審査会合の関係です。

1ページ目の一番下を御覧ください。7月20日火曜日、(4)第48回技術情報検討会。

こちらの議題ですが、福島第一原子力発電所の事故分析の中間取りまとめから得られた知見に関しまして、規制への反映に関する検討を継続するか否か、いわゆる技術情報検討会ではスクリーニングイン、スクリーニングアウトと申しておりますけれども、そのような検討を継続するか否かについての検討と結論を得るために議論を行うものです。

続きまして、1ページおめくりいただいて2ページ目です。ここには書いてございませんが、来週の23日金曜日は祝日ですので、定例ブリーフィングはございません。

その下、3番の委員の現地視察等についてです。

(1) 日本原子力発電株式会社東海第二発電所新規制基準適合性審査に係る現地調査。こちらは7月27日火曜日の9時10分から行われます。

山中委員が、東海第二発電所の特定重大事故等対処施設に関する現地調査を行うものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。